

立命館大学理工学部 学生員 ○木村 俊司
立命館大学理工学部 正会員 笹谷 康之

1.背景・目的

大津市では2000年3月に市民・事業者・行政のパートナーシップで取り組むローカルアジェンダ21として「アジェンダ21おおつ」を策定した。これに基づいて、市民・事業者とともに「(仮称)おおつ環境フォーラム準備会議」を立ち上げた。

本研究では大津市を対象として、計画推進組織である「(仮称)おおつ環境フォーラム(以下フォーラム)」が「アジェンダ21おおつ」をどのように推進していくかについて有効な施策を解明することを目的とする。

2.研究方法

本研究では、以下のアンケート調査結果を用いる。

- ・地球環境問題に関する大津市民意識調査
- ・大津市における環境パートナーシップ調査

表1 各調査の概要

大津市民意識調査		パートナーシップ調査
目的	環境保全行動における意識と実践状況の把握	団体の環境保全活動の状況と連携に対する意識の把握
対象	大津市における20歳以上の男女	環境に関連する 市民団体・企業・学校
配布数	1000件	333件
回収数	403件	市民団体 36件(117件中) 企業 41件(151件中) 学校 28件(65件中) 全体 105件(333件)
回収率	40.30%	市民団体 30.8% 企業 27.1% 学校 43% 全体 31.5%
調査期間	平成11年11月24日～12月8日	平成12年12月11日～12月31日

各アンケート調査結果より以下の分析を行う。

大津市民意識調査

- (1) 環境保全行動の類型化
- (2) 環境に関する意識と環境保全行動の相関性

パートナーシップ調査

- (1) 市民団体の類型化
- (2) 企業の類型化

3.「大津市民意識調査」分析結果

(1) 環境保全行動の類型化

環境保全行動30項目の取り組みへの実践と意識から得点化し、クラスター分析を用いて3つに類型化した。

クラスター1…一般認識型環境保全行動(18項目)

取り組みの実践と意識がともに高く、環境保全行動として飽和された状態の項目が多く含まれる。

クラスター2…施策体制整備型環境保全行動(6項目)

一般的に環境保全行動として認識されているが、取り組みへの意識と比較して実践の度合いが劣っている傾向がある。

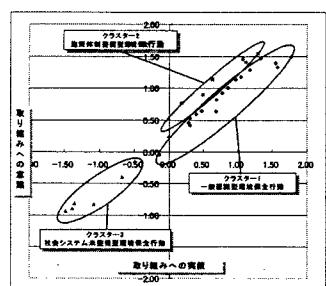


図1 クラスター分析による項目の類型化

クラスター3…社会システム未整備型環境保全行動(6項目)

環境保全行動として、実際に取り組まれるためには、社会全体の仕組みの整備とともに、市民の意識を高める必要がある。

(2) 環境保全行動と環境に関する様々な意識の相関分析

環境保全行動と環境に関する意識との相関性に関する分析の結果、以下に挙げる傾向が見られた。

- ・クラスター3(社会システム未整備型環境保全行動)に含まれる項目と、地球的規模の環境問題に対する意識、環境問題の原因主体に対する意識、パートナーシップ組織への参加意識との相関が高いという傾向が見られた。
- ・特に相関が強かったのが、クラスター3に含まれるイベント性の高い環境保全行動と、パートナーシップ組織への参加意識である(図2参照)。

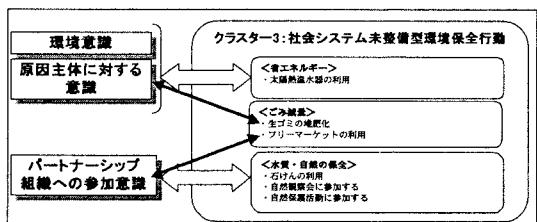


図2 環境保全行動と環境に関する意識の相関図

4.「パートナーシップ調査」分析結果

(1) 市民団体の類型化

アンケート項目を集約するため、環境活動形態、環境活動状況、フォーラムとの協働意向、今後の総合的な学習の時間への対応意向、他団体との連携意向、及びその具体的な連携内容の7つの質問項目に対して主成分分析を行った。さらに得られた主成分得点からクラスター分析を用いて団体の類型化を行った。

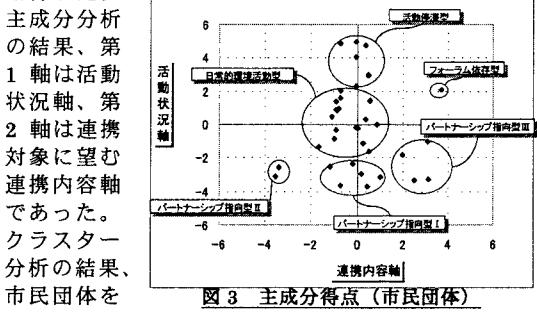


図3 主成分得点(市民団体)

6つのグループに類型化した。

パートナーシップ指向型I…構成比16%

様々な形態の環境活動を積極的に取り組んでおり、フォーラムとの協働意向、他団体との連携意向があり、その具体的な連携内容として人材・情報・活動の場を望んでいる。

パートナーシップ指向型Ⅱ…構成比 5%

環境活動及びフォーラムとの協働意向、他団体との連携意向全てに対して積極的であるが、その具体的な連携内容は特になく、連携の必要性のみを感じている。

パートナーシップ指向型Ⅲ…構成比 11%

イベント的な自然観察会や学習会・シンポジウムを積極的に取り組んでおり、活動のウェイトが高いことから、他団体との連携意向があり、その具体的な連携内容として人材・モノ・情報・活動の機会・場・活動における拠点と様々な要素を望んでいる。

フォーラム依存型…構成比 3%

環境活動の取り組み、フォーラムとの協働意向・総合的な学習の時間への対応意向全てに消極的である。他団体との連携意向があるが、このクラスターに含まれる団体との連携における効果は低い。

日常的環境活動型…44%

日常的な環境活動に取り組んでいる団体だが、他団体との連携意向は低い。環境保全に関する理解を有しているが、連携がもつ可能性を理解していない。

活動停滞型…構成比 17%

環境活動の取り組み、フォーラムとの協働意向、他団体との連携意向、総合的な学習の時間への対応意向全てに消極的な姿勢を示している。

(2) 企業の類型化

企業に
関しても、
同様の設
定で分析
を行い、
その結果、
6つのグ
ループに
類型化し
た。

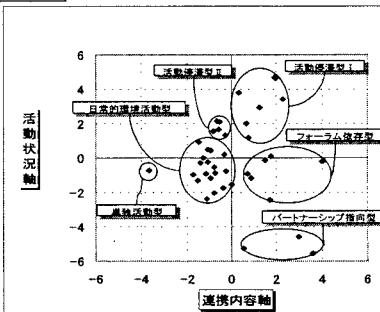


図 4 主成分得点（企業）

パートナーシップ指向型…構成比 7%

日常的な環境保全活動、調査・研究・提言を積極的に取り組んでいる。フォーラムとの協働意向、他団体との連携意向をもち、その連携対象に人材・モノ・情報・活動の機会・場・拠点と様々な要素を望んでいる。

フォーラム依存型…構成比 15%

日常的な環境保全活動、講義・教室・シンポジウムなどを積極的に取り組んでいる。フォーラムとの協働意向はないが、他団体との連携意思があり、その具体的な連携内容として人材・モノ・情報・活動の機会・場を望んでいる。

単独活動型…構成比 2%

イベント的な自然観察会を積極的に取り組んでいる。フォーラムとの協働意向はあるが、他団体との連携意向、総合的な学習の時間への対応意向はない。

日常的環境活動型…構成比 49%

日常的な環境活動を積極的に取り組んでいるが、連携意向、総合的な学習の時間への対応意向ではなく、連携がもつ可能性を理解していない。

活動停滞型Ⅰ…構成比 15%

日常的な環境活動に関して取り組んでいるが、フォーラムとの協働意向、他団体との連携意向、総合的な学習の時間への対応意向はない。

活動停滞型Ⅱ…構成比 15%

環境活動の取り組み、フォーラムとの協働意向、他団体との連携意向、総合的な学習の時間への対応意向全てに消極的な姿勢を示している。

表 2 連携対象団体に関するカテゴリー表

主属性	連携対象団体	取り組み	属性	フォーラムとの協働意向	属性内	属性外	属性外の選択	属性外の選択	属性外の選択
パートナーシップ指向型Ⅰ	日本環境保全活動協議会 環境・資源・循環の三輪の主導 環境・資源・循環の三輪の主導	環境保全活動 環境・資源・循環の三輪の主導	属性内 属性外	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △
パートナーシップ指向型Ⅱ	日本環境保全活動協議会 環境・資源・循環の三輪の主導 環境・資源・循環の三輪の主導	環境保全活動 環境・資源・循環の三輪の主導	属性内 属性外	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △
パートナーシップ指向型Ⅲ	日本環境保全活動協議会 環境・資源・循環の三輪の主導 環境・資源・循環の三輪の主導	環境保全活動 環境・資源・循環の三輪の主導	属性内 属性外	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △
フォーラム依存型	日本環境保全活動協議会 環境・資源・循環の三輪の主導 環境・資源・循環の三輪の主導	環境保全活動 環境・資源・循環の三輪の主導	属性内 属性外	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △	○ △

5. フォーラムの役割

フォーラムの役割として、「パートナーシップ指向型」の企業・市民団体と協働連携することにより、その団体しか有しない貴重な人材・情報提供が望める。学校は総合的な学習の時間の利用を中心に拠点、人材（児童）の提供が望める。事業内容では、「日常的環境活動型」の市民団体・企業に対して、潜在的な連携意識を顕在化させる有能な地域的リーダーの育成が望まれる。

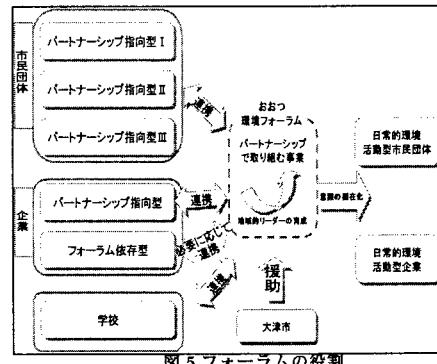


図 5 フォーラムの役割

6.まとめ

・環境保全行動を3つに類型化した。クラスター3（社会システム未整備型環境保全行動）とパートナーシップ組織への参加意識との間に強い相関が見られた。

・大津市における市民団体・企業をパートナーシップ指向型、日常的環境活動型、環境活動停滞型として6つに分類することができた。

・フォーラムの役割として、学校、及びパートナーシップ指向型の市民団体・企業と連携して事業に取り組んでいくことが重要である。